



季刊

2009. 9

# 防災ニュース 第5号

宮前区まちづくり協議会防災部会  
宮前区役所地域振興課

～大地震に見舞われたとき～

## 電気・ガス・水道はどうなるの？

大地震によって電気・ガス・水道のライフラインが途絶した場合、復旧までの間、日常生活に大きな支障をきたします。

また、震災時の電気・ガスについては、扱い方によっては火災の原因になり、被害を拡大する恐れがあるため、注意が必要です。



そこで、今回の防災ニュースでは、ライフラインが途絶した際の注意点、対応方法などについて紹介します。

### ～コラム1：ライフラインの途絶に備えて～

参考までに、阪神・淡路大震災でライフラインの復旧にかかった時間を紹介しますと、電気については1週間程度、ガス・水道については最大で2ヶ月程度となっています。(参考資料：㈱インターリスク総研「災害リスク情報21号」)

● 普段から家庭にあるものが役立ちます。チェックしておきましょう。

- ・ 電気が途絶した場合  
→ 携帯ラジオ (情報を得るために必要です!)、懐中電灯、電池
- ・ ガスが途絶した場合  
→ カセットコンロ (ボンベの予備も)
- ・ 水が断水した場合  
→ 飲料水 (飲み水は1人1日3リットル必要といわれています!)

● 各ライフラインの元栓の位置や動作方法を確認しておきましょう。

## 電気の注意点と対応方法

阪神・淡路大震災において、発生源別出火件数の3割を「電気による発熱体」が占め、最も多い原因となっています。

これは多くの場合で、電気が復旧した際の通電時に、配線やコンセントのショート等により発生した**通電火災**によるものでした。

せっかく倒壊をまぬがれた家が、  
火災にあってしまうなんて・・・



出火を防止するためには、以下の点に注意が必要です。

- ・ アイロンやドライヤーなどの熱器具を使用していた場合、速やかにスイッチを切ってコンセントからプラグを抜く。
- ・ 電気の消し忘れによる事故を防ぐために、分電盤のアンペアブレーカーまたは漏電ブレーカーを切る。
- ・ 水がこぼれて発火する可能性があるため、テレビなど電化製品の上には花びんなどをおかない。

### ～コラム2：通電による火災を防ぐために（東京電力からのお知らせ）～

- ・ 東京電力では、地震により電力設備や家屋が被害を受けている地域のお客さまへ送電を再開するにあたり、復旧作業と並行して個々のお客さまの在宅状況・電気設備の必要最低限の安全確認を実施した後、送電を行うことを原則としています。
- ・ 被害を受けている家屋は、配電線路から切り離し、不在のお客さまへの送電は保留としています。在宅の場合は、お客さまのご協力を得ながら家屋損壊状況・電気設備の安全確認を行い、送電可否の判断を行います。

## ガスの注意点と対応方法

都市ガス、LPガスとも、震度5強程度以上の地震を感知すると、ガスメーターの安全機能が作動し、自動的にガス供給をストップする機能を持っています。

### 〈もしガスのおいがしたら〉

- ・ ガス栓とメーターの元栓を閉め（LPガスの場合はボンベのバルブも閉める）、窓を開けて換気し、すぐにガス会社へ連絡する。
- ・ スイッチのON、OFF時に火花が飛ぶ可能性があるため、換気扇や電気のスイッチにさわらない。



### 〈再びガスを使う場合には〉

地震が収まって再びガスを使用する際には、ガスくさくないことを確認してから使用してください。ガスが出ない場合は、マイコンメーターの復帰動作をしてください。

## ～コラム3：マイコンメーターの復旧方法～

東京ガスの「マイコンメーター」は

● 大きな地震（震度5程度以上）があった時 ● ガスの圧力が異常に低くなった時 ● 多量のガスがもれた時

TOKYO GAS

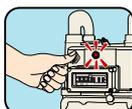
自動的にガスを止める安全装置付ガスメーターです。いざと言う時でも安心です。

安全装置が作動して止まった、マイコンメーターの復帰手順

メーターの色：クリーム色または白色



1 すべてのガス器具を止める。屋外の器具も忘れずに。メーターガス栓は止めない。



3 復帰ボタンを奥まで押し、すぐ手を離す。ボタンは元に戻り、赤ランプが再び点滅したらキャップを元に戻す。



2 復帰ボタンのキャップを外す。



4 約3分待つ。この間にマイコンが安全を確認。赤ランプの点滅が消えるとガスが使えます。

※ 3分以上点滅が続くときは、ガス器具の止め忘れがないかを再確認し、やり直してください。

※ 正常に復帰しないときは、最寄りの東京ガスへご連絡ください。



<http://www.tokyo-gas.co.jp>

（資料提供：東京ガス株）

# 水道が断水したときは？

水道が断水した際、川崎市では、応急給水拠点及び給水タンク車を利用した給水活動が行われます。

## (1) 応急給水拠点

地震等の災害により家庭の水が出なくなった場合に、地下式の貯水槽や耐震性のある水道管から水を抜き出し給水活動を行うもので、操作は川崎市水道局職員が行います。

応急給水拠点の近くには、水を抜き出す**マンホールと道具入れ**が設置されていますので、お近くのものを散歩しながら見つけておいてください。



応急給水拠点のマンホール



(縦型)

応急給水拠点の道具入れ  
(場所に合わせた形を採用)



(ベンチ式)

宮前区内の応急給水拠点一覧

No	所在地	目標
1	野川 3006	野川台西口バス停東側
2	有馬 6-6-1	中有馬バス停
3	宮崎 3-5-15	宮崎台小学校北東側
4	土橋 3-1-1	水道局鷺沼配水所南側
5	菅生 6-33-13	ハイツブルーム前
6	菅生ヶ丘 29-8	稗原交差点北側
7	宮前平 2-20-5	宮前区役所構内駐車場前
8	神木本町 2-10-1	東高根森林公園内
9	野川 801	野川郵便局前バス停
10	菅生 4-6-10	向ヶ丘自動車学校入口
11	野川 3193	野川第2公園東側
12	野川 3029	野川第3公園内
13	有馬 7-7-1	有馬中学校南側
14	宮崎 107	宮崎中学校東側

## (2) 給水タンク車

川崎市水道局では、給水タンク車5台と、トラックに搭載できる1トタンク71基を市内に配備し、断水となった地域の病院や一部の高台などで給水活動を行います。



給水タンク車